園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
〒622京都府船井郡園部町上木崎32
☎C771(62)3249
No 36

「グループホーム」（記憶を辿って）

園部地方振興局府民課保護係　白数宗雄　十程前雄

もう、十年程前になります。当時、知的障害者の方々のグループホーム制度（国）が創設され、府内の法人に携わりました。

事の現在、宮城県知事の浅野史郎氏はコマーシャルでビールの染みが、宮城の菅原文太宣伝マンとも思いました。

氏は、俳優の菅原文太さんは、「とも出演されました。

朝、御飯を何杯食べて、質問しました。

福祉課長さんは、厚生省からの資料も「まさに、ニューウエーブにしてみます。」とあり、当時、いさかオーバーな表現に感じなくもなかった。

施策期待をされた背景には、障害者の方々の一応の生活を出発点とした、「グループホーム」制度の実施に当たっての、「働けるのは金銭管理や生活面での支えが必要であれば自立してさえ生活できる」と言う方々のみ新しい形の福祉施設の在宅ケアの中間期待でもあります。

当時は、大きな制度効果

言えば施設か宅

中で、こう考え方

ホームの「グループ

ルーム」に似た

十名施設定員

通勤寮

規模は、施設

環境条件に

実施の

ギャッの

制度の

全国的

施設の

ルーム」は、大掛かりな施設という枠を取り払った点で普及の方向性のある、また、数人を単位とするこの「グループホーム」の誕生で、中間的な制度の実効面から、ますます推進を困難にしております。

その裏付けとして、京都府において、既に国に先駆けて補助事業として数箇所が運営されておりました。

早速これらのホームを含めて、府内の圏域毎（北部、中部、南部）にそれぞれ京都市）に計四箇所、「グループホーム」を初めて国制度の適用し、今日にいたっています。

今思いでありますが、大規模な施設や建物が必要なことでもなく、街のどこでもつくることができる「グループホーム」は、ノーマライゼーションを一層押し進めていくまさに力強い牽引役になり得ると心から思えたのは、当時の率直な思いでもありました。

今後期待に違うことも、そのお役割を果たしていくものと思います。

さて、お聞きしますと、杉山所長さんを始めとし、関係者の皆さんによって「グループホーム」を検討されましたのこと。

ヨスステージに応じて法令等は異なってもライ増えていきますまっていることはサする次第であります。

グループホーム設立募金のお願い

園部地方振興局府民課保護係

日頃より、園部共同作業所にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

先日は突然グループホーム設立募金のお願いを差し上げまして、ご無礼をお許しください。

私どもつぼみ会「園部共同作業所」と「グループホーム」づくりを目指しまして、地道な活動を続けてまいりました。

この度幸運にも作業所の近くの一棟全てグループホームとして借用出来ることになりました。

しかしNO3の作業所だよりに設立委員長、垣村がお願いしてお建物は年数もたちまたグループホームとしてのの備品等も用意せねばならず、どうしても改修資金が必要となって参りました。

私共は障害者の自立生活をめざす方々のための成功させるために、多くの方々のご支援を募金活動を始めたいただき是非とも支援よろしくお願い致します。

杉山俊夫所長

行事・レクレーション

七月二八日　海水浴（主催園部保健所）

由良海岸からバスに乗って行きましたが、朝から雨が降り、浜茶屋で昼食を食べ仕から、宮津の関西電力「魚っ知館」へ行き、水族館の見学をして帰ってきました。

九月二九日　レントゲン検診

園部保健所にて、仲間達・職員全員、結核検診を受けました。京都府では船井郡が一番疾病率が高いそうで、園部保健所のご好意で、始めての検診でした。

寄贈品

七月二十一日
城島幹夫様　ジュース一箱

八月七日
山口雅典様　ジュース

八月二十八日
塩見栄様　シュークリーム

九月十一日
山口雅典様　ジュース

九月十六日
城島幹夫様　ジュース

九月二十九日
明田商店様　モード履

十月六日
川西敏夫様　シュークリーム一箱

十月六日
おおみや共同作業所様　お菓子一箱

十月九日
鈴木須美子様　お菓子一箱

近畿ブロック家族会精神保健福祉推進活動研修会に参加して

グループホーム設立委員会
副委員長　西山幸伸

偏見のカベに積極的に立ち向かって

研修会第二日の小池先生の講演「家族支援と法改正をふまえて」は、障害者を抱えている私にとって強く心に残るものがありました。精神障害者の問題は、◎偏見が強く、本人も家族も社会から引きこもりがちになるのが現実。◎親の高齢化で、個人や家族の力に限界があること。◎入院者の人権を守り処遇を改善し、地域福祉を充実する。などについて話され共感するところ大でありました。

いま思い返せば、弟が二十数年前に発症し二年ばかり人院、その施設は、どの窓にも鉄格子が入れてあり、部屋や廊下の仕切には全て施錠がしてありました。そこには人としての扱いはなく、正に罪人を止めおく所といった感じで、患者は強い薬のせいか、ウツロな目でボーっと見ている、そんな日々を過ごしている一種異様な状況でありました。

こうした実態を見てきた者にとっては、小池先生の講演は、強いインパクトを受ける強烈な内容でありました。

社会の障害者に対する見方、考え方は少しずつ理解され変化してきましたが、精神障害者に対してはまだまだの感じです。飛行機の乗っ取り事件や、人通りの多い所で刃物を振り回しての殺傷事件などが報道されると、事件を起こした者のことが気になるのは私ひとりでしょうか。

この障害に対する偏見は、病気のことやその状況を正しく理解することが第一で、そのことによって理解は深まっていくものと考えます。親が高齢化すると共に、体力的にも経済的にも弱くなってきています。私の両親も二年前にあいついで亡くなり、現在は弟の面倒を見ておりますが、兄弟であるがために、その状況を客観的に、冷静にみることもできます。

地域の中では、いろんなことがありますが、家族の積極的に偏見を取り払う努力が必要ではないでしょうか。

海水浴

藤村清和

今年は、あいにくの雨で出発しましたが、雨がやんでからは、とても暑くなりました。六年かて七年まげに見ていましたが、雨にはなるかなあ。雨が中止にはじめてから、海水浴が記憶にきゅうきょ、なったのは、それでは、水族館に変更になりました。みんなが残念がっていたけれどしかたありません。

発電所の見学に変更せんと、関西電力の火力発電所の海水浴場に着いたのは午前の十一時半頃でした。空は曇り空で雨が降っていたので、昼食をとりました。そこで先生が思ったのは、天気やまあ、ここだけ、なぜ、水族館は水族館に注目しました。私も水族館はじめてで、どんなところかと少し不安げに見ていました。そうしたら熱帯産の小さな魚や大きなサメまでがゆうゆうと泳いでいまして気持ちよくなりました。

知らない魚から、ちょっと見たことがある魚まで気持ちよさそうに泳いでいました。中には古代魚も泳いでいるのに一度びっくりさせられました。

ボタンを押すとボールが飛びあがった。次に関西電力発電所では、ボタンを押すとバスケットに入れれば勝ちというミニチュアボールのバスケットボールがあり、そこに数人の子がいたので、みんなで楽しくボタンを押していたら、私もボタンを押してみろよと言われたので、一か八かボタンを押したら、見事バスケットの中にボールが入ったのでびっくりしました。

職員紹介

このたび、縁あって、園部共同作業所に勤務させていただくことになりました松本です。今まで、OL、給食調理員など、正職員、アルバイトを含め、いろいろな職種を経験しましたが、福祉関係は始めてです。今まで、障害のある方と接触する機会が無く、どう接してよいかわからず不安で、とまどいながらの毎日ですが、はや一ヶ月が過ぎ、なんとか様子がつかめてきました。

私ごとですが、毎日、三人分の弁当を作り、そして六人分の夕食、そして中一と小三の塾習い事の送り迎えと大変忙しい毎日を送っています。

仕事も毎日忙しく、覚えることもたくさんあり、足手まといになっているかと思いますが、頑張っていきたいと思います。また、至らぬ点も多々あると思いますが、みなさん、ご指導の程よろしくお願いいたします。

松本純子

編集後記

暑い暑いと言っている間に、随分秋らしくなってきました。季節の変わり目は、風邪など引きやすいですが、お気をおつけください。

来年のグループホームの開設に向けてがんばっています。心苦しいことですが、皆様にご支援をお願いしています。よろしくお願いいたします。